

◆◆◆ 教えて！ハマダ先生！！ ◆◆◆



はまだ しょうこ
濱田 祥子先生

私たちは、お互いの存在をあいさつによって受け止めています。例えば、「○○ちゃん、おはよう」と名前を添えたあいさつをすることで、お子さまは自分が大切にされていると感じるでしょう。また、あいさつは気持ちや体調を表し、子供の「今」を知るための大切な手立てですから、形式的なあいさつではもったいないですね。子供は言葉だけでなく、笑顔や手を振る、おじぎをするなど、様々な方法を通じて、自分も相手も心地よいあいさつを学んでいきます。日常の何気ないあいさつを大切にすることが、人とかかわる力のスタート地点ですね。

比治山大学 現代文化学部
子ども発達教育学科 准教授
研究分野は、子ども学、
心理学、教育学／
保育の心理学等に関する
著書、研究多数

◆◆◆ あいさつに関するおすすめの本 ◆◆◆



げんきにごあいさつ

作:木村 裕一／絵:田中 四郎／偕成社

おともだちの家に遊びに行くまでの様々な場面で、こんなときはどんなあいさつを言ったらいいかを分かりやすく教えてくれる絵本です。

おともだちの家の玄関を訪れるたびにドアを開ける仕掛け絵本です。ドアを開ければ、おともだちがやさしい笑顔でお出迎えしてくれますよ。



あさですよ!

作:絵:ひろかわ さえこ／鈴木出版

リズムカルな言葉で進行する、朝の物語。お母さんやお父さんの優しい笑顔と「おはよう!」というあいさつで、元気な一日の始まりです。

おひさまや、おともだちも「おはよう!」と元気なあいさつをしてくれます。思わずいっぱいあいさつをしたくなる絵本です。

紹介した本は広島県立図書館で借りられます!

★広島県立図書館

広島県立図書館 <https://www2.hplibra.pref.hiroshima.jp/>



★家庭で「ちょっとやってみよう」と思える、役立つ情報を発信中

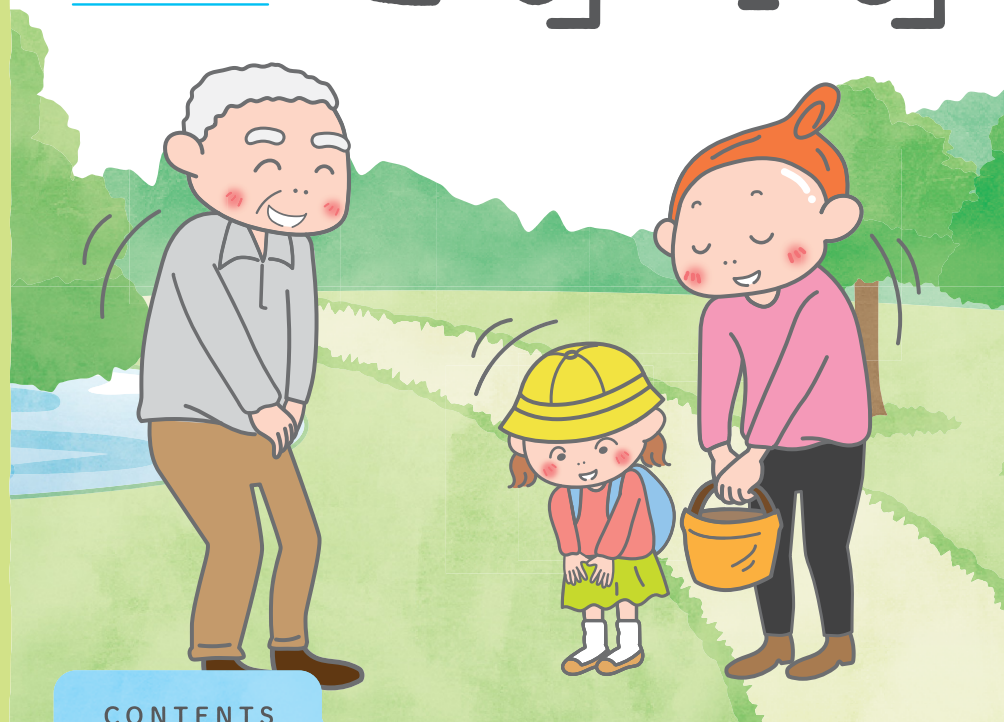
親子コミひろしま <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/>



子供にとって遊びや日々の生活の全てが学びです!

幼児
(3~5歳)
シリーズB
あいさつ編

「遊び」は「学び」



CONTENTS

- ・親の姿からあいさつに興味を持つ。
- ・遊びの中で自然に身につくあいさつ。
- ・あいさつすると気持ち良い!

遊び 学び 育つ ひろしまっ子!

広島県教育委員会乳幼児教育支援センター

「遊び」は「学び」

バックナンバーはこちら→



気持ち良くあいさつすることで子供を育てる5つの力

あいさつは、相手と心を通わせること、喜びや楽しみ、感謝の気持ちなどを伝え合うことです。あいさつを交わすことによって、互いに親しみが増し、共に過ごす生活が心地良いものになります。



子供にとって 遊びや日々の生活の 全てが学びです!

おおむね
3歳頃～

感じる・
気付く
力

人と
かかわる
力

家族で
気持ち良い
あいさつを!



さようなら

ばいばーい!

子供は親のまねをします。親が率先してあいさつを!

子供が言葉を交わしたくなるような、明るく和やかなあいさつを心掛けましょう。会釈をしたり、手を振ったりするなど、ちょっとした場面のあいさつを繰り返していくと、子供は大人のまねをして、あいさつの心地良さを感じてくれることでしょう。

おおむね
4歳頃～

考える
力

やりぬく
力

人と
かかわる
力

どういたしまして



おいしかった!
ごちそうさま

楽しく
遊びながら
あいさつを!

遊びや生活の中で、様々なあいさつを覚えていきます。

「ごっこ遊び」であいさつを取り入れるのもいいでしょう。例えば、おもちゃの貸し借りの中で、自然とあいさつをする場面があります。その中で、子供はコミュニケーションを学んでいきます。

子供の発達は個人差が大きく、環境によって異なります。子供の個性や発達のペースを大切に、温かく見守っていきましょう。

おおむね
5歳頃～

うごく
力

考える
力

やりぬく
力

人と
かかわる
力



あいさつが
できたら、
しっかり褒めて
あげましょう!

あいさつのやり取りを楽しく一緒に!

気持ち良いあいさつに共感しましょう。認める声掛けをすることで、子供は親しみをもって普段から日常的あいさつをするようになるでしょう。

あいさつをすることで得られる 3つのメリット

- ★明るくあいさつをすれば、周囲の人も自然と笑顔になります。
- ★あいさつをすることは相手を認めること。あいさつを交わすことが、人と仲良くなる第一歩です。
- ★心地良いあいさつをすることで人とのつながりが芽生えます。